

努力は人生を変える

No. \_\_\_\_\_

インド／タナティ アニースラフマン

私は、インドの南にある小さな村で生まれ育ちました。私は父、母、妹の4人家族でしたが、9歳の時に父が亡くなり、私たち家族の生活はとても苦しくなりました。中学生の時、母を助けるために学校を休んで働きに行くこともありました。高校に行くお金もありませんでしたが、祖父の助けにより何とか高校に入学することができました。毎日の生活が大変だったため、やりたい事を考える余裕もありませんでしたが、何かをやってみたいという思いだけはずっと心の中にありました。そんな中、私はサッカーに出会いました。サッカーシューズを買うお金もなく、裸足で練習をしていましたが、それでもサッカーができる嬉しさと、誰よりも早くグラウンドに行き、一人で練習をしてからみんなと一緒に練習することを続けました。そのお陰でレギュラーになることができ、約100校の学校の中で優勝することもできました。本当に嬉しかったです。そしてこの時、「努力を続けると必ずいいことがある」ということを知りました。それまでは、勉強の意味も努力することの大切さも考えたことはありませんでしたが、このサッカーでの経験から私の意識は大きく変わりました。サッカーは私に、「どんな事にも挑戦し、前向きに努力しよう」という思いを芽生えさせてくれました。

大学を卒業した後、私は家族のために働かなければなりませんでした。自分がやりたい事よりも、家族の生活のためにできる事をするというのが最優先だったため、シンガポールに行き、アラビアン香水店で働きました。働き始めた時、言葉も全く分からず、同僚に仕事のやり方を聞いても何も教えてもらえず、とても孤独な毎日でした。それでも、私は家族のためにそこで頑張らなければなりませんでした。そして、孤独な毎日で芽生えたことは、「ここで自分にできる事を考えて頑張ってみよう」ということでした。香水の勉強、言葉の勉強、ビジネスの勉強。毎日一つひとつが勉強で、苦勞の連続でしたが、お客さんが楽しんで香水を選び、「また来ますね。」と喜んで帰ってくれた時、この仕事の楽しさを感じるようになりました。そして、お客さんに喜んでもらうために力を注ぐようになると、いつしか私はそのお店で売上トップの成果をあげることができるようになっていました。言葉もわからず、香水の知識も全くなかった私が、1番を獲ることができるなんて本当に夢のようでした。

家族の生活のために行ったシンガポールでしたが、努力を続けたことで香水の仕事の楽しさを知り、やりがいも感じることができました。そして、そのシンガポールで妻と出会い、今、私は日本にいます。妻は私を見て、「努力している時、とても楽しそうだね。」と言います。私にとって努力を続けることは、決して苦しいことではありません。とても楽しいことです。なぜなら、努力した先に

は必ず幸せなことがあると思うからです。そのことを想像しながら頑張っている時、とても楽しい気持ちになります。

今、私には夢があります。オリジナル香水を作るお店を日本で開くことです。母を助けるために働きに行き、裸足でサッカーをしていた頃は、夢を抱くことなんてできませんでした。あの頃からは想像できないほど私の人生は変わりました。サッカーでの経験によって、努力することの大切さを知ることができたお陰です。

人生の中で何が起こるかわかりませんが、どんな事にも挑戦し、前向きに努力を続けるとその先の人生は変わっていくと思います。努力で自分の人生を変えられることは本当に素晴らしいことです。日本に来て半年ですが、日本でもこれまで以上に努力し、夢を叶えられるように頑張っていきたいと思います。